



7月うぶやま天文台星空情報 2

月が土星に接近



7月の星空情報 2 は、7月25日に、夜更けの南の空で満月過ぎの明るい月が土星と接近します。7月の夜更けには、東の空から土星が昇ってきます。土星が南中を迎える未明の南の空には、ちょうど秋に見られる星空が広がっており、明るい恒星と言えばやや低いところに輝くみなみのうお座の1等星フォーマルハウトのみです。1等星を上回る0.9等級の土星は、その中でよく目立っているでしょう。

25日はこの土星と、満月から3日経過した、まだ大きく明るい月が接近します。そのため、さすがの土星もやや目につきにくいかもしれませんが、薄明が始まるまでは低倍率の望遠鏡や双眼鏡などの視野で同時に見ることができます。

未明の空では、離角1.5度と双眼鏡の視野に収まる程の感覚で見えている土星と月は、西の空に傾いていき、日の出後の空で土星は月に隠される「土星食」です。東京における予報では、6時30分に土星に月の明縁がかかり始め、40秒程度で完全に隠されます（潜入）。月の暗縁から出現するのは、7時23～24分にかけての頃です。日本では青空の中での現象となり肉眼では観察できません。未明の空にある天体を観察するためには、少し早起きが必要になります。未明の時間帯ですので観察会は行いません。

【月が土星に接近】

